

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2025年 6月 25日

(宛先)  
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)  
大津市月輪1丁目4番6号

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)  
近江鍛工株式会社 代表取締役 坂口康嗣  
(代理人)信楽工場長 山本豪

滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項  
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例  
第26条第1項  
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、  
[事業者行動計画を策定 (変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	近江鍛工株式会社 代表取締役 坂口康嗣
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	大津市月輪1丁目4番6号

1 事業者の概要

事業所の名称	近江鍛工株式会社 信楽工場							
事業所の所在地	甲賀市黄瀬138番地							
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	2	2	5	4	鍛工品製造業		
事業の概要	主にリング形状の鍛造製品の製造							
従業員の数	80	人	作業時間	8	(8時~17時)	時間/日		
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者						
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者						
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者						
主要な設備	ボイラ	台	熱源設備	28	台	照明設備	240	台
	コンプレッサ	6	台	空気調和設備	台	その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	R4	年度	報告対象年度	R6	年度
	終了年度	R8	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

別紙1, 環境方針 参照

2 取組の推進体制

別紙2, EMS組織図(環境組織図)参照

3 これまでに取り組んできたCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組

省エネ対策として以下を実施。  
・使用燃料の過半数をLPGからLNGに転換。  
・加熱炉をリジエネ方式に変更し、LNG、LPGの使用原単位が変更前に対して35%削減達成。  
・工場照明を水銀灯からLEDに更新。  
・太陽光発電システムを建屋天井に設置。

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	工場建屋ごとの消費エネルギーの見える化	R4年度～	各設備監視実施
2	運用改善	細めな設備の停止の徹底	R4年度～	無駄チェックリスト展開
3	運用改善	最適な生産を行う為の人員配置の適正化	R4年度～	課内で実施出来た
4				
5				

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>上記の取組等により、令和3年度を基準年度として以下の数値目標を達成する。</p> <p>原単位 「 温室効果ガス排出量 / 生産量 」 で年度3%削減</p> <p>原単位設定の考え方は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>温室効果ガスの排出量は生産の増減に左右されるため、原単位指数(分母)を生産量に設定。</li> <li>上記取組による削減効果を評価するため、電力のCO<sub>2</sub>排出係数(電力原単位)は計画基準年度(R3年度)の係数0.362に固定。</li> </ul>	<p>【令和4年度】6%削減達成 【令和5年度】4%増加 【令和6年度】9%増加 【令和7年度】 【令和8年度】</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		( R4 )年度	( R5 )年度	( R6 )年度	( )年度	( )年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	10,268	10,929	9,848	9192		
温室効果ガス総排出量	t-CO <sub>2</sub>	19,526	20,400	19,690	17,579	0	0
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	19,526	20,400	19,690	17,579		
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	0	0	0	0	0	0
CH <sub>4</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
N <sub>2</sub> O	t-CO <sub>2</sub>						
HFCs	t-CO <sub>2</sub>						
PFCs	t-CO <sub>2</sub>						
SF <sub>6</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
NF <sub>3</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
エネルギー等原単位の推移		0.689	0.652	0.717	0.749		

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

## 5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

## (1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

## ■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

## ■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	水素、アンモニア等の代替燃料とした加熱炉の設置。
2	老朽化設備の更新の際に、省エネ設備を条件に検討。
3	
4	
5	

## (2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	200 kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ( )	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

## (3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

	単位	計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			( R4 )年度	( R5 )年度	( R6)年度	( )年度	( )年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	222,100	222,368	229072	219042		
上記のうち自家消費量	kWh	0	0	0	0		

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減によりCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容およびその実績

取組の内容等	取組の実施状況
○風力発電用部品を積極的に受注し世界的削減に貢献  風力発電は使用段階で二酸化炭素を排出せずに電力を生み出すため、社会全体での温室効果ガス削減に貢献するものである。 当社は、風力発電向けベアリングの素材は生産しており、部品供給を通じてCO <sub>2</sub> ネットゼロ社会づくりに貢献します。	【令和4年度】2980メガワットで達成 【令和5年度】723メガワットで未達成 【令和6年度】256メガワットで未達成 【令和7年度】 【令和8年度】
	CO <sub>2</sub> 削減貢献量
	215.6 t-CO <sub>2</sub>

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標および目標設定の考え方
R3年度実績 : 2665.5メガワット/年 ※弊社納入部品数量から使用される風力発電機容量より算出  目標設定 R4年度 : 2800メガワット/年 R5年度 : 2900メガワット/年 R6年度 : 3000メガワット/年 R7年度 : 3000メガワット/年 R8年度 : 3000メガワット/年

(3) 上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価およびCO<sub>2</sub>削減貢献量の算出根拠

目標の進捗に対する自己評価
日本のベアリングメーカーが受注出来ていない。前期に比べて落ち込み巾が大きすぎる。世界的に発電方法が見直しされているのではないかな。
CO <sub>2</sub> 削減貢献量の算出根拠
風力発電のCO <sub>2</sub> 排出量 25g/kwh 火力発電のCO <sub>2</sub> 排出量 867g/kwh 上記の差を削減量として計算。 842g/kwh

7 その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに資する取組

## (1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			( R4 )年度	( R5 )年度	(R6 )年度	( )年度	( )年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO <sub>2</sub>	19,413	20,400	19,407	18,088		
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 【調整後排出係数】	t-CO <sub>2</sub>						
【調整後排出係数】	kg- CO <sub>2</sub> /kWh	0.351	0.311	0.360	0.419		
特記事項							

## (2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			( )年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
グリーン証書の購 入	t-CO <sub>2</sub>						
クレジットの購入	t-CO <sub>2</sub>						
特記事項							

## (3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1	環境に優しい車の購入 推進	車を買替える際には、ハイブリッド車及び電気自動車への移行を推進。	R4～	本年度は購入実績なし。
2				
3				

## (4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	項目	単位	計画開始年度 前年度の 保有台数	実績報告				
				( R4 )年度	( R5 )年度	(R6 )年度	( )年度	( )年度
	保有車輛の数	台	2	2	2	2		
	上記のうち 次世代自動車の数	台	0	0	0	0		
特記事項								

(5) その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	環境マネジメントシステム (EMS)	LPG、LNGガス使用量の原単位を、直近5年の平均値に対して毎年1%削減し、5年で5%削減	R5～	受注量減により未達
2	吸収源確保	工場の緑地化を推進	R6～	滋賀南部森林組合と環境林整備事業を推進中。
3	吸収源確保	山林の購入を推進する。	R7～	滋賀南部森林組合と環境林整備事業を推進中。
4	環境マネジメントシステム (EMS)	太陽光発電システムの増設。	R7～	今秋に設置予定。
5				